



人口	7,753人
男性	3,761人
女性	3,992人
世帯数	3,513世帯

山田学区(2月28現在)

山田まち協公式 LINEQRコード 

まちづくり通信やまだ

発行者
山田学区まちづくり協議会
草津市南山田町678
山田まちづくりセンター内
TEL/FAX 077-562-0044
<https://kusatsu-yamada.jp/>



退任にあたって

令和7年度山田学区まちづくり協議会
会長 山本 克実

学区の皆さま、3年間ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この3年間の中で一番大きな出来事は新まちづくりセンターの建設です。先月のまちづくり通信でもお伝えしたように、鉄骨が組みあがり7月末の完成、9月予定のオープンを待つばかりです。新センターにつきましては、3年前から建設検討委員会を立ち上げ議論を重ね、これまでのセンターにない広い交流スペース、販売許可付きキッチンを設置しました。今までの会議だけの利用ではなく、お子さま連れから高齢者の方まで、誰もが気軽に入りやすく、利用しやすくなっています。どうぞ皆さんお気軽にお越しください。また、ヤマミラのメンバーが山田のメロンを使ったメロンシャーベット、凍らせてシャーベットを商品開発し、センターで実施したメロンまつりや宿場まつり等での販売のみならず、昨年のおもてなしとして提供させていただき、選手の方々から好評を得たところです。そして、今年度作成した「第3次山田学区まちづくり計画」において、まちづくり協議会は学区の各種団体で構成されていることを示し、これまで以上に学区内の団体と連携して事業に取り組んでまいりました。皆さま、これからも学区のスローガンである“笑顔のまち 住みよいまち やまだ”をめざし一緒に取り組んでまいりましょう。3年間ありがとうございました。



新会長就任にあたって

令和8年度山田学区まちづくり協議会
会長 堀井 信市

この度山田学区まちづくり協議会の会長に就任いたしました。堀井信市です。このような重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。これまで本協議会の発展のためにご尽力されてきた、歴代の会長、役員の皆様へ心より感謝申し上げます。この山田の地域は住民同士のつながりを大切に長い年月をかけて築かれてきました。しかし、一方で少子高齢化、防災、町内会の運営等、地域課題は増すばかりです。これからは「できることを、できる人が、できる範囲で支え合う地域」「笑顔のまち 住みよいまち やまだ」を目指して、顔の見える関係で助け合いを大切に活動してまいります。今後も、皆様のお力とお知恵をお借りしながら次の世代に繋げていけるよう、誠心誠意努めてまいります。又、今年度は新しいまちづくりセンターが9月に開所する運びとなりました。本センターの整備・開所準備にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。新しいまちづくりセンターは高齢者、子育て世代、若い世代が交流できる地域の拠点として活用していただきたいと思います。特に新センターは交流サロンが大きく確保され、多目的スペース、販売許可付キッチン等の新しい設備を有効活用することで、新しい取り組みが生まれる事を期待しております。結びに、地域の発展と皆様のご健勝を心より祈念いたしまして会長就任のご挨拶とさせていただきます。

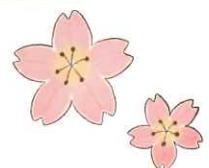
令和8年度の山田学区まちづくり協議会役員と町内会長のご紹介

【山田まちづくり協議会役員】 会長：堀井 信市
副会長：山本 薫・堀井 繁基・仲村 智美
会 計：清水 祥成

【町内会長】

(北山田町) 山本 和宏	(五 条 町) 山本 克実	(陽ノ丘団地) 大原 正義	(山 田 町) 杉江 哲哉
(南山田町) 馬場 均	(不動浜町) 山川 寿夫	(岡 町) 岸本 広治	(南山田団地) 田中 優也
(御倉町) 斎藤 誠	(三ツ池町) 杉浦 龍吾	(新 田 町) 吉岡 孝治	(出屋敷町) 木村 安利
(出屋敷団地) 仲村 智美	(木川町) 馬場 章		

(敬称略)



R8事業計画

第6号議案



令和7年度から始まった第3次山田まちづくり計画の2年度目となるが、当協議会として令和8年最も重要となる事は、秋に計画されている新山田まちづくりセンターへの移転である事から、移転準備と新センターのスムーズな運用に向けて開設準備委員会並びに総務委員会を中心に取り組んでまいります。新センターは「笑顔のまち、住みよいまち、やまだ」という山田学区まちづくり協議会のテーマの根幹となると考え、「自分たちの地域は自分たちでつくる」ためのベースと位置づけ、「防災・防犯、安全環境、健幸、後継人材の育成と学区内の様々な人々を繋ぐ絆づくり、組織の活性化」に対して新たな一歩を踏み出せるよう取り組みます。

【重点事項】

《新まちづくりセンター開設》

令和8年秋に予定されている新山田まちづくりセンターのオープン準備について開設準備委員会で検討を進め、総務委員会を中心とした理事全員と一緒に準備を進めてまいります。また、オープン後の新センターの目玉である販売許可付きキッチンや他の市内センターに無い規模の交流スペースの有効活用に向けて、まち協を構成していただいている多くの方々と市役所関係部局と連携、協力し機能性に富んだ拠点作りに取り組みます。

- ①新センター活用の仕組みづくり
- ②新センターへのスムーズな移転と現センターの引き渡し
- ③新センターを取り巻く環境整備に向けての提案

《山田学区防災対策の見直しと充実》

新センターへの移転に伴って、様々な観点からの山田学区防災対策の見直しについて防災グループを中心に進めてまいります。

- ①学区防災本部機能の充実と消防団、各自治会防災組織との連携強化
- ②学区防災計画の見直しと学区民への周知
- ③防災意識の向上に向けての取組

《各種団体間連携への支援と後継人材の育成》

昨年の拡大総務委員会においての各団体が抱えている課題や意見に基づいた団体同士の結びつきを強化するための事業支援や共通課題と言える将来を担うべき人材の育成の在り方について、総務委員会を中心として意見交換し継続可能なまち協としての育成方策について検討を進めてまいります。

- ①重複する事業に関しての団体間の連携をコーディネートする
- ②各団体へまち協として取り組んでいただきたい事業の提案と支援をおこなう
- ③地域社会の将来を担う人材育成の在り方について検討していく

《組織体制の強化にむけて》

現在の山田学区まちづくり協議会については、各グループ制によりその事業展開が進められてきたが、実際には活動ができていないグループもあることから、組織体制、運営方法、会則などの多岐にわたる見直しを新センターへ移転するこの時期だからこそ取り組むべきだと考えています。

よって以下の4点について三役会並びに総務委員会で検討して、よりよい組織づくりに取り組んでまいります。

- ①グループ制の見直し
- ②理事の役割の見直しと明確化
- ③現状に即した会則等の見直し
- ④新センターに合致したまち協の事業検討

以上4項目を令和8年度の活動の柱として、学区内の様々な力と知恵を集結し取り組んでいきたいと考えておりますので、理事、評議委員の皆様をはじめ関係各位のご協力とご支援をお願い致します。

前号まちづくり通信 第115号記載内容の訂正とお詫び

- 訂正箇所：3ページ目 あいさつ運動啓発作品におきまして「優秀賞」を表彰されましたお名前に誤りがありました。
- 誤り内容：(正)尾崎 璃愛さん→(誤)尾崎 瑠愛さん 書面をもちまして心よりお詫び申し上げます。